

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地高ICアクセス 一般国道354号 古河境バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県古河市高野 至：茨城県猿島郡境町猿山			延長	3.2km
事業概要					
一般国道354号 古河境バイパスは、新4号国道と東西方向を結ぶ幹線道路ネットワークの強化および境古河ICへのアクセス性向上を図ることを目的とし、古河市高野から境町猿山までの延長3.2kmを整備するものである。					
H30年度事業化		H6年度都市計画決定		R1年度用地着手	
R2年度工事着手					
全体事業費	約70億円	事業進捗率	約14%	供用済延長	— km
計画交通量	12,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	3.5	49/62億円		218/218億円	
	(残事業) 4.5	事業費：46/59億円 維持管理費：3/3億円		走行時間短縮便益：178/178億円 走行経費減少便益：34/34億円 交通事故減少便益：6/6億円	
基準年					
令和4年					
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=3.4~3.6 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.3~4.6 (交通量±10%)					
事業費：B/C=3.3~3.8 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.1~4.9 (事業費±10%)					
事業期間：B/C=3.4~3.6 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.4~4.6 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
・新4号国道や圏央道とのアクセスが向上し、企業立地の促進などによる地域活性化が期待される。					
・周辺地域の交通量が減少し、沿道環境が改善される。					
関係する地方公共団体等の意見					
・沿線自治体で構成される「国道354号古河境バイパス整備促進協議会」から、本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約8%、事業進捗率約14%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
土工における土量の過不足について、他事業と工事間流用することにより、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。